

REFINITIV. リフィニティブ

高校生向け  
資産  
形成  
がわかる



知りたい  
投信 なるほど  
リップバー

担当=DZHフィナンシャルリサーチ・石原敬子

Refinitiv(リフィニティブ)はロンドン証券取引所グループ(LSEG)傘下の金融情報提供会社です

## 学びとともに小さな失敗を 学校の知識を社会で生かすために

「高校生向け」の前回までは、主に社会全体から見た経済や金融のしくみをお伝えしてきました。今回は、個人のお金の使い方のお話をしましょう。

皆さんは、お金を上手に使えていますか？ おこづかいを使い切って、後になって欲しいものを買えずに困ったことはありませんか？ 修学旅行のように数日分のお金を持つのは、計画的にお金を使う練習です。前半に使いすぎて、最終日に買いたいものをガマンした、という人もいるのではないのでしょうか。

そんな悲しい思い出も、じつは大事な経験です。大人になって高額なお金を扱うようになると、失敗は大きな痛手になります。いまのうちに経験を重ねましょう。うまくいったら自信につながります。

失敗したら、どうしてそうなったのか、次はどうしたら良いのかを考え、そこから学ぶことができます。

旅行の途中で残金がゼロにならないためには、どうしたら良かったのでしょうか？ 1日ごとに使う金額を決める？ 使い道ごとに予算を決めておく？ 残金を確認しながら行動する？ 実際に失敗したからこそ、授業で学ぶ「マネープラン」の重要性が理解できることでしょう。

また、前回までにお伝えしたように、「投資信託」は少ない金額でも買えます。自分のお金で投資をしてみると、価格の変動をリアルに感じます。値下がりするとガッカリしますが、安い価格で投資できるのはうれしいです。社会や経済とつながった実践的な学習は、授業で学ぶ資産形成

が、より理解しやすくなるでしょう。保護者と相談して、できる範囲でチャレンジしてみると良いと思います。

以前、自転車の事故で、被害者に1億円近い賠償金を払うことになったのが話題になりました。「もし自分だったら？」と思うと怖いですね。自転車通学者は、自転車保険の加入が義務付けられているでしょう。「保険」は、高額のお金を支払わなければならない時に役に立ちます。

学校の授業では、生活のど

んな場面でどのような金融商品を利用するのかを学ぶはずですよ。自分の身近なところで実際にお金を使って、良いことも悪いことも、楽しいことも悲しいことも経験しながら、知識と現実が結びつくといいですね。

社会人になると、それまで以上に、お金と生活は切り離せなくなります。身につけた知識が上手に活用できるようになれば、みなさんの生活や人生の選択肢は、きっと広がるはずです。

### 大人になる前なら、失敗も経験のうち

